

寄居町AR等活用デジタルコンテンツ作成業務委託
公募型プロポーザル選定結果について

寄居町AR等活用デジタルコンテンツ作成業務を実施するに当たり、発注者の考えに柔軟に対応でき、創造性や高い技術力、豊富な経験を持った事業者を選定することを目的とし、公募型プロポーザルを実施した。

1. 業務名 寄居町AR等活用デジタルコンテンツ作成業務委託
2. 受託候補者 株式会社ジーン
3. 企画提案書提出者のうちプレゼンテーション参加者（参加申込書受付順）
株式会社DNPプランニングネットワーク
株式会社キャドセンター
株式会社NTT ArtTechnology
株式会社ジーン
ナカシャクリエイテブ株式会社東京支店

4. 全提案者の評価点

審査結果	会社名	評価点数
受託候補者	株式会社ジーン	627点
次点候補者	ナカシャクリエイテブ株式会社東京支店	615点
—	A社	503点
—	B社	497点
—	C社	487点

(800点満点)

5. 審査講評

第一次審査では、参加申込書の提出のあった13者について、実施要領4に記載の通り参加資格確認を行い、10者を企画提案書の提出要請者として選定した。

第二次審査では、企画提案書の書類審査において評価点が上位であった5者によるプレゼンテーション及び質疑を実施した。基本方針については業務への積極性、目的理解度の観点から、企画提案評価については仕様充足度、独創性、利便性、発展性、拡張性の観点から、体制評価については、業務工程表、実施体制、過去の実績から評価するとともに、見積書の評価を加え、選考委員会での審査を行った。

全体として、いずれの提案内容も鉢形城跡をはじめとした観光資源の特性を理解し、中心市街地の周遊促進が期待できるものであった。さらには、各提案者が得意とするデジタルコンテンツを活用した魅力的な提案内容であった。

また、プレゼンテーション及び質疑についても円滑に行われ、いずれの提案者も真摯かつ意欲的な姿勢で、寄居町のための貴重な提案を示していた。

受託候補者として特定された「株式会社ジーン」の提案は、過去の多数の実績を踏まえ、ゲーム開発で培った技術を存分に生かしたものであった。特に往時の鉢形城をAR・VRで再現する機能や敵兵と戦うゲーム機能はエンターテインメント性に優れ、歴史好きや城好き、ファミリー層等に対し、喜び・楽しみを提供できるものと期待された。中心市街地を舞台としたコンテンツでは、宝探しイベントを提案し、楽しみながら市街地を周遊できると見込まれるものであった。熱意が伝わるプレゼンテーションを実施され、当事業に対する積極的且つ前向きな姿勢が高く評価された。

次点候補者として特定された「ナカシャクリエイテブ株式会社東京支店」の提案は、中心市街地を回遊する補助機能としてウェブページ制作やコラム記事の掲載、SNSと連動したコンテンツ開発など、発展性、拡張性の観点から高く評価された。鉢形城に関する提案は、ナビゲーション機能や音声ガイド機能等、鉢形城を案内するコンテンツとしては秀逸であったものの、一方で独創性に欠ける提案であり、受託候補者との評価の差となった。

6. 寄居町AR等活用デジタルコンテンツ作成業務委託公募型プロポーザル選
定委員会委員及び選定理由

所属（人数）	選任理由
副町長 町関係課長 計8名	適正かつ適切な選定のための識見を有し、中心市街地及び鉢形城跡に関わりの深い者及び多角的な視点で選考することのできる者を選定した。